

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		040301010100		事業の種類		2	
年度	1	事務事業名	遊歩道整備事業	予算事業名	遊歩道整備事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		美しい自然環境を保全し、活用する		担当課長	長治 宏幸	担当者名	松下 亮太
取組み事項		森林を豊かに育てる		実施計画への記載	有	主要事業の指定	無
実施計画事業名		遊歩道等改修工事					
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	遊歩道を整備し市民が利用するように					

2 事業の概要 Do

実施の概要		清掃、除草委託業務				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	業務委託	箇所	2	2	2	3

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.244	0.280	115	0.164	59	0.164	100	
	臨時職員			-	0.004	-	0.004	100	
支出内訳	人件費	2,254,304	2,451,260	109	1,596,869	65	1,584,817	99	
	事業費	1,603,455	2,737,610	171	1,520,360	56	3,603,000	237	
	合計	3,857,759	5,188,870	135	3,117,229	60	5,187,817	166	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,857,759	5,188,870	135	3,117,229	60	5,187,817	166	
	合計	3,857,759	5,188,870	135	3,117,229	60	5,187,817	166	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		業務委託箇所							
指標説明(式)		業務委託箇所							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
箇所	目標	2	2	100.0	2	100.0	3	150.0	
	実績	2	2	100.0	2	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

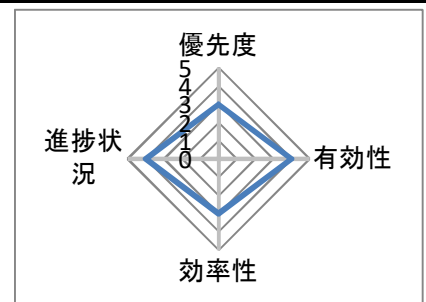
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	目標は達成している。	4
効率性	コストの節減	草刈回数や施工延長を見直し実施している。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	老朽化対策が急務となってきた。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	施設の補修必要箇所を精査して対応する。

配点	25
総合評価	17

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	老朽化した施設の点検調査を実施し、優先順位をつけ、予算を有効に使って維持管理を行っていく。
見直事項	
新規事項	
方向	継続 成果 維持 総コスト 維持

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	040301010200		事業の種類		2	
年度	1	事務事業名	林道維持修繕事業	予算事業名	林道維持修繕事業	優先度	3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課			
施策名(中)		美しい自然環境を保全し、活用する		担当課長	長治 宏幸	担当者名	松下 亮太	
取組み事項		森林を豊かに育てる		実施計画への記載		無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		林道維持修繕事業						
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	林道を整備し山林所有者及び市民が利用するように						

2 事業の概要 Do

実施の概要		林道改修、舗装				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	工事件数	件数	2	2	1	2
	草刈	件数	1	1	1	1

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93		
	参事以下職員	0.084	0.084	100	0.048	57	0.048	100		
	臨時職員			-	0.004	-	0.004	100		
支出内訳	人件費	1,019,424	994,196	98	739,629	74	715,165	97		
	事業費	960,120	1,037,880	108	1,016,400	98	1,038,000	102		
	合計	1,979,544	2,032,076	103	1,756,029	86	1,753,165	100		
財源内訳	国庫支出金			-		-		-		
	県支出金			-		-		-		
	市債			-		-		-		
	その他			-		-		-		
	一般財源	1,979,544	2,032,076	103	1,756,029	86	1,753,165	100		
	合計	1,979,544	2,032,076	103	1,756,029	86	1,753,165	100		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		委託、工事件数							
指標説明(式)		委託、工事件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件数	目標	3	3	100.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	3	3	100.0	2	66.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

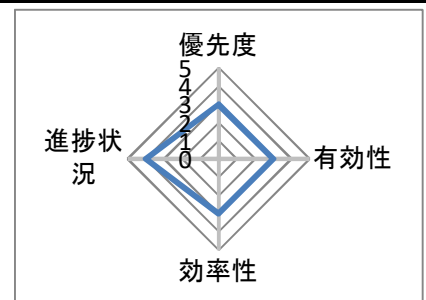
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	林道の安全な利用が来ている。	3
効率性	コストの節減	整備箇所において、経済的な方策を取る。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	林道施設の老朽化が顕著である。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	施設の簡易補修を実施する。

配点	25
総合評価	16

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	林道(作業道)が整備されてから更新工事を行っていないため、施設が老朽化している。今後、限られた予算の中で対応していく。
見直事項	
新規事項	
方向	継続 成果 維持 総コスト 維持

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	040301010300	事業の種類		5
年度	1	事務事業名	森林整備事業	予算事業名		優先度
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課	
施策名(中)		美しい自然環境を保全し、活用する		担当課長	担当者名	
取組み事項		森林を豊かに育てる		実施計画への記載	有	主要事業の指定
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規		県民みどり税関連事業				
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民				
	誰(何)を対象として	高齢人工林				
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢人工林の若返りを図り、保水能力の高い森林を造成する。				

2 事業の概要 Do

実施の概要		針葉樹林と広葉樹林の混交整備 計画調査面積A=30ha				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	計画調査設計	ha	30			
	作業道設置	m		1593		
	広葉樹植栽	ha				

3 投入資源

3 投入資源		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	-	0.029	-	0.027	-	
	参事以下職員	0.068	0.104	-	0.108	-	0.188	-	
	臨時職員			-	0.004	-	0.004	-	
支出内訳	人件費	895,936	1,142,876	-	0	-	0	-	
	事業費			-		-		-	
	合計	895,936	1,142,876	-	0	-	0	-	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	5,000,000	22,740,000	-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	-4,104,064	-21,597,124	-	0	-	0	-	
	合計	895,936	1,142,876	-	0	-	0	-	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		補助件数							
指標説明(式)		補助件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標	1	1	-	1	-		-	
	実績	1	1	-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

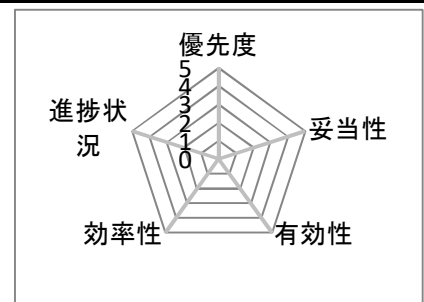
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	実施事業者が森林整備に精通した森林組合となっている。	
効率性	コストの節減	県民みどり税を100%活用した補助事業	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進んでいる。	

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	0

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	
見直事項	
新規事項	
方向	成果 総コスト

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		040301020100		事業の種類		5	
年度	1	事務事業名	有害鳥獣対策事業	予算事業名	有害鳥獣対策事業	優先度	4
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		美しい自然環境を保全し、活用する		担当課長	長治 宏幸	担当者名	勝谷 周文
取組み事項		田園を美しく守る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家					
	誰(何)を対象として	農家					
	意図(どのような状態にしたいのか)	鹿、猪などの有害鳥獣対策を行うことで農地の荒廃を防ぎ、田園風景や自然環境を美しく保全していく。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		近年、野生動物の農作物被害は営農意欲の低下を招くなど大きな問題となっているため、兵庫県猟友会相生支部と連携し駆除活動や各種防護事業を行う。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	有害鳥獣駆除	回/年	2	2	2	2	
	防護柵の機能向上	km	3.6	2.1	1	3	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.444	0.476	107	0.440	92	0.424	96	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	3,797,904	3,908,324	103	3,626,309	93	3,528,189	97	
	事業費	7,855,571	7,370,605	94	6,607,494	90	8,208,000	124	
	合計	11,653,475	11,278,929	97	10,233,803	91	11,736,189	115	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	1,696,000	1,823,000	107	2,099,000	115	1,405,000	67	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	9,957,475	9,455,929	95	8,134,803	86	10,331,189	127	
	合計	11,653,475	11,278,929	97	10,233,803	91	11,736,189	115	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		鳥獣の捕獲頭数(猟期内、猟期外)							
指標説明(式)		猪・鹿の捕獲頭数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
頭	目標	850	850	100.0	850	100.0	700	82.4	
	実績	478	488	102.1		0.0			
指標名2		農作物の被害金額							
指標説明(式)		出荷農家における被害金額(相生市鳥獣被害防止計画において、被害金額について、現状値をH29、目標年度をR3として軽減目標を設定)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	3,433,000	3,101,000	90.3	2,821,000	91.0	2,539,000	90.0	
	実績	2,207,000	2,992,000	135.6	2,440,000	81.6			

【効率性】

指標名1		被害対策済集落数							
指標説明(式)		被害防護柵の設置完了集落数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標	25	25	100.0	25	100.0	25	100.0	
	実績	25	25	100.0	25	100.0			

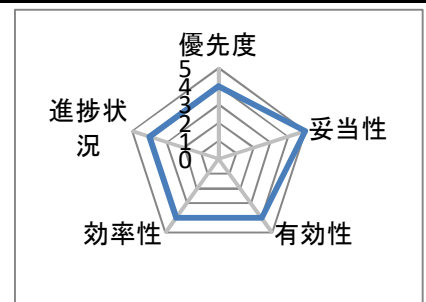
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	目撃数や被害総額は減少傾向にあり、目標は達成の見込みである。	4
	市民サービス	捕獲頭数の拡大により、農産物の被害金額(出荷農家)は減少傾向である。	
効率性	負担割合の適正化	捕獲活動委託料について、県からの委託料を基に、近隣市町と調整を図りながら適正化を図った。	4
	手段の最適性	猟友会及び農会長等と協力し農業被害の防止に努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗した。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	農作物被害の観点だけでなく、市民の安全安心確保すべく獣害対策に取り組む必要がある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	市街地での野生動物の出没に備えた対応マニュアルの見直しと庁内共有を図る。

配点	32.5
総合評価	27.5

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	集落全体で捕獲対応を推進するため狩猟免許取得者の増加を図るための事業展開が必要である。				
見直し事項					
新規事項					
方向	継続	成果	拡大	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		040301020200		事業の種類		1	
年度	1	事務事業名	環境保全型農業直接支払事業	予算事業名	環境保全型農業直接支払事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		美しい自然環境を保全し、活用する		担当課長	長治 宏幸	担当者名	室井 良太
取組み事項		田園を美しく守る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家					
	誰(何)を対象として	農家					
	意図(どのような状態にしたいのか)	農業分野において、地球温暖化防止や生物多様性保全に貢献するため環境保全効果の高い営農活動への支援を行う。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		農業分野において、地球温暖化防止や生物多様性保全に貢献するため環境保全効果の高い営農活動への支援を行う。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	取り組み農家数	戸	2	3	3	3	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員			-		-		-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	371,112	369,740	100	374,709	101	349,461	93	
	事業費	2,144,900	2,095,460	98	1,967,360	94	2,400,000	122	
	合計	2,516,012	2,465,200	98	2,342,069	95	2,749,461	117	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	1,608,675	1,571,595	98	1,475,520	94	1,800,000	122	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	907,337	893,605	98	866,549	97	949,461	110	
	合計	2,516,012	2,465,200	98	2,342,069	95	2,749,461	117	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		農家数							
指標説明(式)		環境保全効果の高い営農活動に取り組む農家数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
戸	目標	3	3	100.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	2	3	150.0	3	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

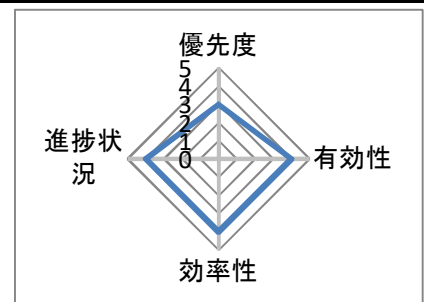
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	申請条件である兵庫県認証エコファーマーの資格をもっている3名の取組みを進めることができた。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	有機農業等の取組みの推進により、地域の環境保全の向上がされ、水質汚染の防止が図れた。	
効率性	手段の最適性	有機農業の取組については、労力や採算が悪いなど営農に影響があるため、JA、県と連携してよりよい栽培方法を取り入れる必要があった。	4
	執行体制の効率性	環境保全の農業を推進することは、相生市においてブランド化が期待できるのでJA、県とも連携して普及する必要があった。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗した。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	事業拡大に向けた地域での連携体制が希薄である。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	ブランド化に向け、JA・県・普及センターとの連携強化を図る。

配点	25
総合評価	18

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	事業や制度拡大に向けた取組みの検討				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040301030100	事業の種類	3
年度	1	事務事業名	自然公園管理事業	予算事業名	自然公園管理事業
		まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち	優先度	3
		施策名(中)	美しい自然環境を保全し、活用する	担当部局名	市民生活部環境課
		取組み事項	相生湾に親しみ、活かす	担当課長	宇久勝志
				担当者名	大角潤矢
				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		自然保護関係法令			
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	国立公園等自然公園			
	意図(どのような状態にしたいのか)	景観や環境の保全に務め、活用を行う。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		自然保護関係法令等の研修及び各関係機関との連絡調整				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	研修会出席	回	0	0	0	0
	協議会等会費	円	20000	20000	20000	20000

3 投入資源

		会計区分	一般会計	事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93
	参事以下職員	0.152	0.164	108	0.132	80	0.116	88
	臨時職員	0.028	0.020	71	0.020	100	0.020	100
支出内訳	人件費	1,618,000	1,644,296	102	1,401,189	85	1,248,353	89
	事業費	20,000	22,640	113	20,000	88	23,000	115
	合計	1,638,000	1,666,936	102	1,421,189	85	1,271,353	89
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	1,638,000	1,666,936	102	1,421,189	85	1,271,353	89
	合計	1,638,000	1,666,936	102	1,421,189	85	1,271,353	89

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		国立公園数							
指標説明(式)		相生市内の国立公園数 ※瀬戸内海国立公園							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	1	1	100.0	1	100.0		0.0	
	実績	1	1	100.0		0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

【効率性】

指標名1		会費							
指標説明(式)		年度会費							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	20,000	20,000	100.0	20,000	100.0	20,000	100.0	
	実績	20,000	20,000	100.0	20,000	100.0			

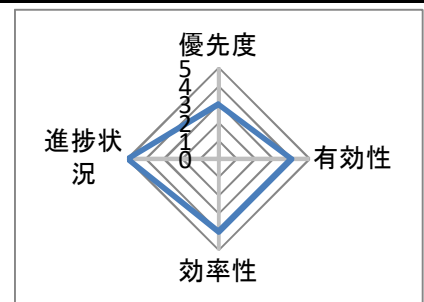
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	国立公園で環境学習を実施。また、清掃活動を行うなど公園の特性を活用しての活動ができた。	4
効率性	手段の最適性	関係機関と連携して活動することで、効率よく活動した。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり進捗している。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
		なし



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
		なし

配点	25
総合評価	19

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	040302010200	事業の種類		4		
年度	1	事務事業名	リサイクル推進事業	予算事業名	リサイクル推進事業	優先度	3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課			
施策名(中)		地球温暖化防止に向けた循環型社会を推進する		担当課長	宇久勝志	担当者名	森川拓平	
取組み事項		廃棄物資源の再資源化を推進する		実施計画への記載		無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	資源ごみ						
	意図(どのような状態にしたいのか)	リサイクルの実践活動による環境意識の向上、及び空き缶の散乱防止等ごみのないきれいなまちづくりを推進する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		デポジット空き缶回収機の運用、資源ごみ集団回収奨励金制度の運用、剪定材再資源化処理業務委託				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	空き缶処理回収機設置台数	台	0	0	0	0
	空き缶処理回収機回収量	kg	0	0	0	0
	空き缶回収量(ステーション回収含む)	kg	54,750	53,730	55,810	54,000

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.180	0.276	153	0.280	101	0.288	103	
	臨時職員	0.016	0.056	350	0.060	107	0.060	100	
支出内訳	人件費	1,802,496	2,576,588	143	2,596,909	101	2,596,317	100	
	事業費	2,937,862	2,695,394	92	2,341,434	87	2,561,000	109	
	合計	4,740,358	5,271,982	111	4,938,343	94	5,157,317	104	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,740,358	5,271,982	111	4,938,343	94	5,157,317	104	
	合計	4,740,358	5,271,982	111	4,938,343	94	5,157,317	104	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		空き缶回収機の回収割合							
指標説明(式)		回収機による回収量÷市全体の回収量×100							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2		資源ごみ集団回収の回収割合							
指標説明(式)		集団回収量÷市全体の回収量×100 (H23:347,430/1,128,530) (H24:343,626/1,069,496) (H25:303,885/1,000,205)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	25	25	100.0	25	100.0	25	100.0	
	実績	25	24	96.0	24	100.0			

【効率性】

指標名1		空き缶回収機運用収支							
指標説明(式)		缶売却益／維持管理経費 (H23:2,890,989/2,635,582) (H24:2,280,669/2,788,892) (H25:2,035,200/3,666,501)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			

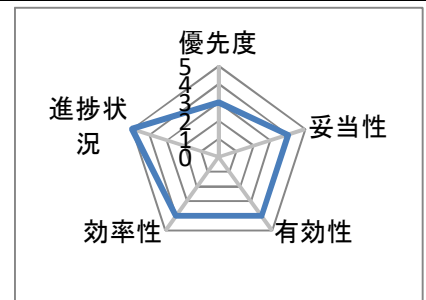
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	空き缶回収機については、老朽化により廃止したが、それに代わる物として、ゲージを置き空き缶をいつでも捨てられるようにした。	4
効率性	負担割合の適正化	空き缶回収機については、老朽化により廃止した。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
		なし



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
		なし

配点	32.5
総合評価	25

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	鉄の相場も下落している。社会情勢を注視しておく必要がある。
見直事項	
新規事項	
方向	継続 成果 維持 総コスト 維持

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		040302030100		事業の種類		4	
年度	1	事務事業名	環境施策関連事業	予算事業名	環境施策関連事業	優先度	4
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課		
施策名(中)		地球温暖化防止に向けた循環型社会を推進する		担当課長	宇久勝志	担当者名	大角潤矢
取組み事項		地球環境問題に対する啓発と環境学習を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	有
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律(環境教育等促進法)					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	特に小学生児童					
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生湾の自然に触れ、自然の大切さ、ふるさとに愛着を感じる。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		小学校高学年児童を対象に、相生湾や播磨灘の身近な海の自然環境を守り育てる活動として里海づくりを行い、故郷の海について体験型の学習を行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	里海体験学習参加人数	人(延べ)	1,086	860	501	1000

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.528	0.436	83	0.380	87	0.436	115	
	臨時職員	0.040	0.052	130	0.052	100	0.044	85	
支出内訳	人件費	4,551,576	3,754,952	82	3,315,509	88	3,682,481	111	
	事業費	1,050,620	1,079,804	103	969,453	90	977,000	101	
	合計	5,602,196	4,834,756	86	4,284,962	89	4,659,481	109	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,602,196	4,834,756	86	4,284,962	89	4,659,481	109	
	合計	5,602,196	4,834,756	86	4,284,962	89	4,659,481	109	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		里海体験学習参加人数							
指標説明(式)		里海体験学習参加人数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	600	800	133.3	1,000	125.0	1000	100.0	
	実績	1,086	860	79.2	501	58.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		参加者割合							
指標説明(式)		事業費(委託料) ÷ 参加者数 (参加者1人当たりのコスト)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1,300	1,000	76.9	900	90.0	900	100.0	
	実績	920	1,162	126.3	1796	154.6			

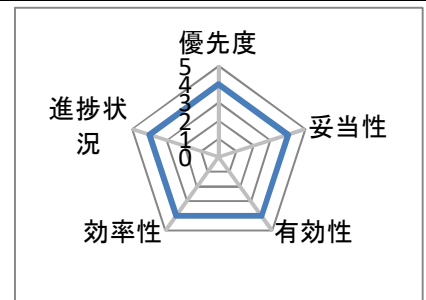
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	学習の講師、指導者として専門家、市民団体の協力を得て行っており、より質の高い活動となっている。	4
	市民サービス	普段相生の海に触れたことがない子供やその保護者も参加しており、相生の事を知るという意味においても有効である。	
効率性	手段の最適性	年間スケジュールを決め、参加者もクラブ員として固定することで効率よく展開出来ている。	4
	執行体制の効率性	学習会の実施については、参加している市民団体が、それぞれの得意分野でメインとなって行い、他の団体はサポートにまわり活動している。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	荒天が多く、実施出来なかった事業があるので、その代替え事業の確立が必要である。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	兵庫県の各機関との共同事業を確保し、荒天時においても別の事業展開が出来るようにした。

配点	32.5
総合評価	26

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	引き続き関係機関と良好な関係を保ちながら続けて行きたい。
見直し事項	活動の幅を広げるためには参加者枠を広げる必要もあると思われるが、海での体験活動がメインのため、安全管理という観点から「里海クラブ」員を20名限定としている。安全に活動を行っていただける方策を研究する必要がある。
新規事項	
方向	継続 成果 維持 総コスト 維持

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	040303010200	事業の種類		5		
年度	1	事務事業名	ごみ箱等設置補助事業	予算事業名	ごみ箱等設置補助事業	優先度	3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課			
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久 勝志	担当者名	森川 拓平	
取組み事項		ごみの適正な処理を推進する		実施計画への記載		無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		ごみ箱等設置費助成金交付要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	自治会等地域団体						
	意図(どのような状態にしたいのか)	各ステーションのごみの散乱防止及び環境美化を図り、住みよいまちとする。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		ごみ箱等の設置に対して、設置事業費の3分の1(上限7万円)を助成する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	設置助成件数	件	3	7	4	5

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.064	0.028	44	0.028	100	0.028	100	
	臨時職員	0.028	0.008	29	0.008	100	0.008	100	
支出内訳	人件費	938,816	600,044	64	602,029	100	571,073	95	
	事業費	95,000	292,000	307	114,000	39	350,000	307	
	合計	1,033,816	892,044	86	716,029	80	921,073	129	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,033,816	892,044	86	716,029	80	921,073	129	
	合計	1,033,816	892,044	86	716,029	80	921,073	129	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ごみ箱設置補助金							
指標説明(式)		ごみ箱設置事業費×1/3=助成費(上限70,000円)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	350,000	350,000	100.0	350,000	100.0	350,000	100.0	
	実績	95,000	214,000	225.3	113,000	52.8			
指標名2		ごみネット設置補助金							
指標説明(式)		ごみネット購入費×1/3							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	8,000	-	1,000	12.5			

【効率性】

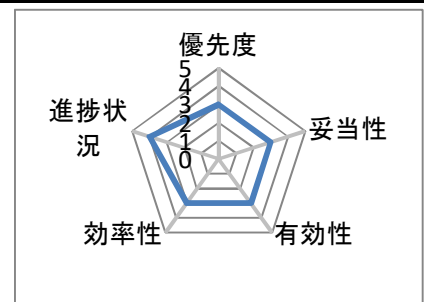
指標名1		ごみ箱設置費用(平均)							
指標説明(式)		事業費×3÷助成件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	210,000	210,000	100.0	210,000	100.0	210,000	100.0	
	実績	95,000	292,000	307.4	85,500	29.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ごみステーションの維持管理等地域の環境美化につながっている。	3
効率性	負担割合の適正化	ごみ箱設置助成に対する負担割合を見直したことにより、経費の節減となった。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
		なし



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
		なし

配点	32.5
総合評価	20.5

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	040303010300	事業の種類		3	
年度	1	事務事業名	近畿自然歩道事業	予算事業名	近畿自然歩道事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課		
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志	担当者名	森川拓平
取組み事項		ごみの適正な処理を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		兵庫県立自然公園条例等の規定					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	近畿自然歩道					
	意図(どのような状態にしたいのか)	歩道の適正な維持管理に努め、通行者が快適に利用し自然公園を満喫する					

2 事業の概要 Do

実施の概要		近畿自然歩道の除草、清掃等維持管理を委託する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	管理委託料	円	352,500	352,500	309,000	309,000
	県補助金(トイレ管理費)	円	206,000	206,000	206,000	206,000

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.112	0.092	82	0.100	109	0.076	76	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,235,528	1,053,668	85	1,113,709	106	919,233	83	
	事業費	352,500	352,500	100	302,500	86	309,000	102	
	合計	1,588,028	1,406,168	89	1,416,209	101	1,228,233	87	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,588,028	1,406,168	89	1,416,209	101	1,228,233	87	
	合計	1,588,028	1,406,168	89	1,416,209	101	1,228,233	87	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		管理委託							
指標説明(式)		除草面積							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
m ²	目標	3,580	3,580	100.0	3,090	86.3	3,090	100.0	
	実績	3,580	3,580	100.0	3,090	86.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		除草1㎡に係るコスト							
指標説明(式)		委託料÷除草面積							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	42.6	42.6	100.0	42.6	100.0	42.6	100.0	
	実績	42.6	42.6	100.0	42.6	100.0			

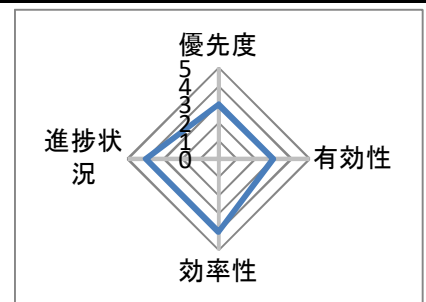
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	良好な維持管理・保全に努め、利用者の便利、普及に努めた。	3
効率性	手段の最適性	各自治会への委託業務であり、地元管理で手段としては最適である。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	緊急性・優先性	台風、大雨などにより通行出来ない区間が多々ある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	緊急性・優先性	事業主体である兵庫県と協議をし、一時閉鎖とした箇所がある。

配点	25
総合評価	17

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	
見直し事項	一時閉鎖区間について、今後補修するのか自然歩道として廃止するのか兵庫県と協議を行う。
新規事項	
方向	継続 成果 維持 総コスト 維持

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		040303010400		事業の種類		9
年度	1	事務事業名	清掃総務費事務経費	予算事業名	清掃総務費事務経費	優先度
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課	
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志	担当者名 坪田泰典
取組み事項		ごみの適正な処理を推進する		実施計画への記載		主要事業の指定
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民				
	誰(何)を対象として	清掃業務				
	意図(どのような状態にしたいのか)	廃棄物処理等清掃業務の円滑な推進				

2 事業の概要 Do

実施の概要		県等都市清掃事務協議会による情報の交換を行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	県都市清掃会議への出席	回	4	4	4	4
	保衛連への出席	回	-	-	-	-

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.592	0.388	66	0.432	111	0.436	101	
	臨時職員	0.216	0.172	80	0.172	100	0.172	100	
支出内訳	人件費	5,509,112	3,730,400	68	4,005,789	107	3,869,617	97	
	事業費	689,581	678,213	98	754,066	111	859,000	114	
	合計	6,198,693	4,408,613	71	4,759,855	108	4,728,617	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,198,693	4,408,613	71	4,759,855	108	4,728,617	99	
	合計	6,198,693	4,408,613	71	4,759,855	108	4,728,617	99	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		県都市清掃会議への出席回数							
指標説明(式)		県都市清掃会議への出席回数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
回	目標	4	4	100.0	4	100.0		0.0	
	実績	4	4	100.0		0.0			
指標名2		保衛連への出席回数							
指標説明(式)		保衛連への出席回数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
回	目標	-	-	-		-		-	
	実績	-	-	-		-			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

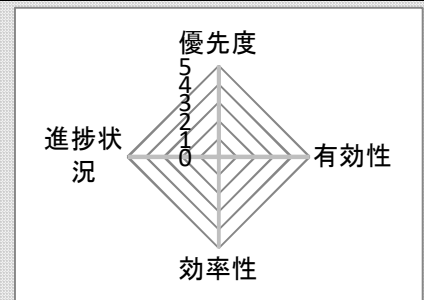
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	県都市清掃事務協議会については、内容も充実しており、担当者同士の交流も図れ、意義のある会議となっている。	
効率性	コストの節減	保健衛生組織連合会においては、内容を含め参加について検討する必要がある。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	0

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容			
重点事項				
見直事項				
新規事項				
方向		成果	総コスト	

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		040303010600		事業の種類		9
年度	1	事務事業名	塵芥処理費事務経費	予算事業名	塵芥処理費事務経費	優先度
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課	
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志	担当者名 坪田泰典
取組み事項		ごみの適正な処理を推進する		実施計画への記載		主要事業の指定
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規						
事業の目的	誰のために(具体的に)	ごみを排出する市民				
	誰(何)を対象として	ごみを排出する市民				
	意図(どのような状態にしたいのか)	指定する分別により指定された日にごみを排出する				

2 事業の概要 Do

実施の概要		ごみの収集日をお知らせする市民カレンダーを作成する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	市民カレンダーの発行	部	14,900	14,900	15,000	15,000

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.536	0.484	90	0.464	96	0.492	106	
	臨時職員	0.076	0.036	47	0.036	100	0.036	100	
支出内訳	人件費	4,708,144	4,067,480	86	3,895,469	96	4,090,617	105	
	事業費	2,257,714	1,574,328	70	1,669,671	106	1,912,000	115	
	合計	6,965,858	5,641,808	81	5,565,140	99	6,002,617	108	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,965,858	5,641,808	81	5,565,140	99	6,002,617	108	
	合計	6,965,858	5,641,808	81	5,565,140	99	6,002,617	108	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		市民カレンダーの発行							
指標説明(式)		市民カレンダーの発行部数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
部	目標	15,150	15,000	99.0	15,000	100.0		0.0	
	実績	14,900	14,900	100.0		0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

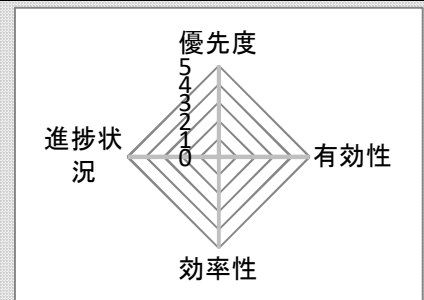
指標名1		市民カレンダーの発行費用							
指標説明(式)		市民カレンダーの発行費用							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1,173,600	1126937	96.0	1,103,375	97.9		0.0	
	実績	984831	984,830	100.0		0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	市内を4地区に分けた収集に合せたカレンダーを作成し、配付した。	
効率性	コストの節減	紙面の内容を工夫することで、他課の補助を有効に活用し、コスト削減に努めた。	
	手段の最適性	日々確認するカレンダーを基本とし、また、紙面として配付することにより、ごみの排出日を確認することができ、誤った排出を防ぐための最善の方法である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	0

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容			
重点事項				
見直事項				
新規事項				
方向		成果	総コスト	

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		040303010700		事業の種類		4	
年度	1	事務事業名	塵芥収集事業	予算事業名	塵芥収集事業		優先度	3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課				
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志		担当者名	坪田泰典	
取組み事項		ごみの適正な処理を推進する		実施計画への記載		無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名		廃棄物収集運搬・処理事業							
根拠法規及び関連法規		相生市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び施行規則							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民							
	誰(何)を対象として	家庭系塵芥							
	意図(どのような状態にしたいのか)	分別収集をすることにより、ごみの減量化、資源化が図れ、ごみ減量の実践と環境意識を高め、環境保全・環境美化・住みよいまちとなる。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		地域の生活環境を保全するため、ごみステーションの適正化を図るとともに、分別排出されたごみを適正かつ効率的に収集する。また、ペットボトル・容器包装プラスチック・食品トレイ等の拠点回収を委託する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	可燃ごみ収集量	t	4,453	4,429	4,319	4,500
	資源ごみ収集量	t	909	893	850	900
	粗大ごみ収集量	t	307	241	186	200
	不燃ごみ収集量	t				

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	14.336	13.004	91	13.044	100	13.396	103	
	臨時職員	5.380	6.888	128	6.748	98	6.388	95	
支出内訳	人件費	125,187,280	116,114,348	93	113,977,269	98	110,118,529	97	
	事業費	47,395,006	45,628,544	96	38,407,410	84	41,726,680	109	
	合計	172,582,286	161,742,892	94	152,384,679	94	151,845,209	100	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	172,582,286	161,742,892	94	152,384,679	94	151,845,209	100	
	合計	172,582,286	161,742,892	94	152,384,679	94	151,845,209	100	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		特別収集							
指標説明(式)		自治会等が行う地区清掃によるごみの収集(件数)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	100	110	110.0	120	109.1	120	100.0	
	実績	119	124	104.2	109	87.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

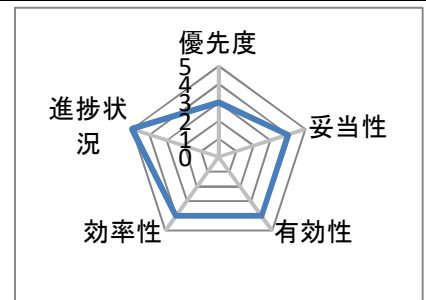
指標名1		人口1人当たりの経費							
指標説明(式)		収集経費÷人口							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	4,500	4,500	100.0	4,500	100.0		0.0	
	実績	4,176	3,936	94.3	4,195	106.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ごみステーションに番号を付けることにより、地域の美化及び自治会等ステーション管理者による保全管理と適正な分別の徹底が図れた。	4
効率性	コストの節減	職員定数を確保し、収集業務の一部民間委託を実施している。収集コースの見直しを行い、効率化を図りコスト削減に努めた。(収集車の燃料費、消耗品費等の経費削減)	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	一部、未だ分別されずごみ出しが行われている。普及啓発を行う必要がある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	チラシを作成し、全戸配布した。

配点	32.5
総合評価	25

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項	引き続き時代に合った、分別品目の調査研究を行いたい。				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	040303010800		事業の種類		1	
年度	1	事務事業名	美化センター管理運営事業	予算事業名	美化センター管理運営事業	優先度	3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課			
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志	担当者名	坪田泰典	
取組み事項		ごみの適正な処理を推進する		実施計画への記載		有	主要事業の指定	無
実施計画事業名		美化センター焼却炉等更新工事			廃棄物焼却処理事業			
		相生市美化センター更新事業						
根拠法規及び関連法規		相生市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び施行規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	美化センター施設						
	意図(どのような状態にしたいのか)	ごみ焼却施設の維持管理に努め、分別収集によるごみ減量、資源化の促進を図ることにより、安全で安定したゴミ処理施設とする。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		ごみ焼却施設の維持管理を行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	焼却稼働日数	日	246	245	245	248
	搬入量	t	10,126	9,981	9803	10,000
	焼却量	t	8,356	8,342	8,222	8,500

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	1.868	1.416	76	1.452	103	1.756	121	
	臨時職員	0.564	0.484	86	0.764	158	0.460	60	
支出内訳	人件費	16,273,912	12,236,480	75	13,053,189	107	14,186,713	109	
	事業費	218,085,413	209,051,678	96	227,523,256	109	253,746,000	112	
	合計	234,359,325	221,288,158	94	240,576,445	109	267,932,713	111	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	234,359,325	221,288,158	94	240,576,445	109	267,932,713	111	
	合計	234,359,325	221,288,158	94	240,576,445	109	267,932,713	111	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		市民1人が1日に出すごみ量							
指標説明(式)		家庭ごみ量(収集)÷365日÷人口							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
g	目標	600	600	100.0	600	100.0	600	100.0	
	実績	581	517	89.0	509	98.5			
指標名2		事業系ごみ							
指標説明(式)		排出ごみ量							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
kg	目標	3,100	3,100	100.0	3,100	100.0	3,100	100.0	
	実績	3,188	3,105	97.4	3,152	101.5			

【効率性】

指標名1		家庭系ごみ1kgあたりの処理経費							
指標説明(式)		家庭系ごみ処理費÷家庭系総ごみ量							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	64.0	64.0	100.0	64.0	100.0	64.0	100.0	
	実績	64.5	64.3	99.7	64.1	99.7			

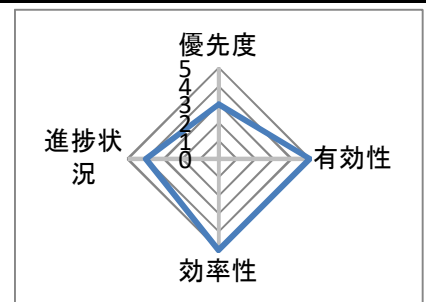
指標名2		事業系ごみ1kgあたりの処理経費							
指標説明(式)		事業系ごみ処理費÷事業系総ごみ量							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	43.0	43.0	100.0	43.0	100.0	43.0	100.0	
	実績	44.0	43.5	98.9	43.3	99.5			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	市民生活に欠かせない事業として貢献している。	5
効率性	コストの節減	施設の維持管理等、収集計画、処理計画をたて、適正な管理運営を図り経費削減に努めた。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
		なし



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
		なし

配点	25
総合評価	20

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	新施設の計画が必要となっている。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	040303010900	事業の種類		1	
年度	1	事務事業名	最終処分場管理運営事業	予算事業名	最終処分場管理運営事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課		
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志	担当者名	坪田泰典
取組み事項		ごみの適正な処理を推進する		実施計画への記載		主要事業の指定	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	最終処分場					
	意図(どのような状態にしたいのか)	ごみの減量・減容化に努め、最終処分場の延命を図ると共に長寿命化に対応する適正管理に努める					

2 事業の概要 Do

実施の概要		不燃ごみの埋立てのための施設の維持管理を行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	埋立処理場	t	883	765	780	780

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.404	0.360	89	0.380	106	0.468	123	
	臨時職員	0.096	0.156	163	0.188	121	0.100	53	
支出内訳	人件費	3,742,048	3,477,944	93	3,662,309	105	4,004,257	109	
	事業費	2,361,814	8,324,781	352	3,836,082	46	1,806,000	47	
	合計	6,103,862	11,802,725	193	7,498,391	64	5,810,257	77	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,103,862	11,802,725	193	7,498,391	64	5,810,257	77	
	合計	6,103,862	11,802,725	193	7,498,391	64	5,810,257	77	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		最終処分場残容量率							
指標説明(式)		1-埋立量÷全体容量(86,000m³)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	36	35	97.2	34	97.1	34	100.0	
	実績	36	35	97.2	34	97.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

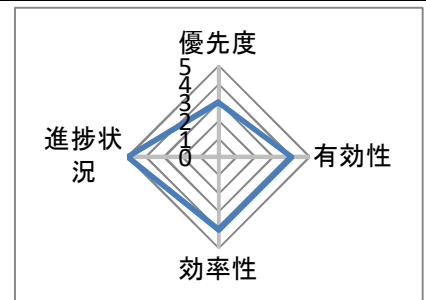
指標名1		維持管理経費							
指標説明(式)		維持管理経費(財源内訳)÷埋立量(t)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	7,000	13,646	194.9	8,828	64.7	2,315	26.2	
	実績	6,913	15,428	223.2	4,918	31.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	市民から排出された不燃ごみを再度分別し、埋立量を減らし最終処分場の延命化を図った。	4
効率性	コストの節減	分別の徹底、施設の日々点検等によりコスト削減が図れた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	安易な埋め立て処分を行わない。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	安易な埋め立て処分を行わない。

配点	25
総合評価	19

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	引き続き延命化のため、分別を徹底する。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	040303011000	事業の種類		4	
年度	1	事務事業名	粗大ごみ処理事業	予算事業名	粗大ごみ処理事業	優先度	4
		まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち	担当部局名	市民生活部環境課		
		施策名(中)	クリーンなまちづくりを推進する	担当課長	宇久勝志	担当者名	坪田泰典
		取組み事項	ごみの適正な処理を推進する	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
		実施計画事業名					
		根拠法規及び関連法規	相生市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び施行規則				
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	粗大ごみ					
	意図(どのような状態にしたいのか)	粗大ごみと資源ごみを適正に分別し、効率的な収集と適正処理に努める。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		粗大ごみの中間処理を委託する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	粗大ごみ処理量	t	301	321	250	250
	拠点回収量	t	176	194	185	190

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.460	0.632	137	0.688	109	0.932	135	
	臨時職員	0.104	0.340	327	0.356	105	0.192	54	
支出内訳	人件費	4,195,328	6,009,488	143	6,366,829	106	7,617,369	120	
	事業費	12,909,472	13,215,681	102	6,835,479	52	14,335,320	210	
	合計	17,104,800	19,225,169	112	13,202,308	69	21,952,689	166	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	17,104,800	19,225,169	112	13,202,308	69	21,952,689	166	
	合計	17,104,800	19,225,169	112	13,202,308	69	21,952,689	166	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		中間処理経費							
指標説明(式)		中間処理委託料							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	12,706,200	12,706,200	100.0	16,814,360	132.3	9,876,000	58.7	
	実績	11,942,106	12,207,156	102.2	5,278,766	43.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

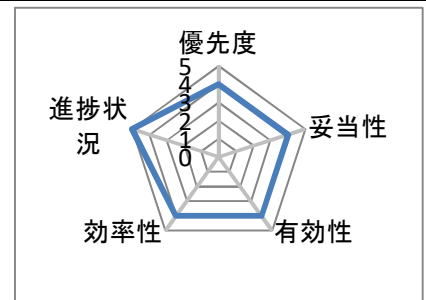
指標名1		粗大ごみ1kgあたりの処理料							
指標説明(式)		委託料÷処理量							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	40.0	40.0	100.0	40.0	100.0	40	100.0	
	実績	39.7	38.0	95.7	21.1	55.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	各量販店、公民館等に設置している分別ケースによる拠点回収は、市民サービスに多大な貢献をしている。	4
効率性	コストの節減	ごみの分別の徹底、また、職員による粗大ごみの再分別により、処理経費のコスト削減が図れた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	不燃粗大ごみの処理委託先について研究したい。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	新たな委託先を確保した。

配点	32.5
総合評価	27

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	収集した粗大ごみについて、焼却する物、埋め立てする物、委託処理するものに職員が再分別している。引き続き行い、コスト削減に努めたい。
見直事項	
新規事項	
方向	継続 成果 拡大 総コスト 維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303011100	事業の種類	4
年度	1	事務事業名	ごみ有料化事業	予算事業名	ごみ有料化事業
		まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち	優先度	3
		施策名(中)	クリーンなまちづくりを推進する	担当部局名	市民生活部環境課
		取組み事項	ごみの適正な処理を推進する	担当課長	宇久勝志
				担当者名	森川拓平
				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		相生市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び施行規則並びに相生市指定ごみ袋等取扱要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	家庭系ごみ			
	意図(どのような状態にしたいのか)	ごみ袋の有料化による、ごみ量の削減とリサイクルの推進			

2 事業の概要 Do

実施の概要		指定ごみ袋・シール券の作成及び販売店への手数料の支払い事業を行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	ごみ袋出荷枚数(大)	枚	280,800	278,400	278,400	250,200
	ごみ袋出荷枚数(中)	枚	524,300	495,600	513,800	489,300
	ごみ袋出荷枚数(小)	枚	270,000	264,000	275,000	250,000
	シール券出荷枚数	枚	43,130	45,180	38,860	45,000

3 投入資源

		会計区分	一般会計	事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93
	参事以下職員	0.408	0.212	52	0.172	81	0.164	95
	臨時職員	0.184	0.092	50	0.092	100	0.092	100
支出内訳	人件費	4,004,712	2,200,496	55	1,880,389	85	1,713,473	91
	事業費	21,854,006	21,628,951	99	22,497,076	104	23,601,000	105
	合計	25,858,718	23,829,447	92	24,377,465	102	25,314,473	104
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	25,858,718	23,829,447	92	24,377,465	102	25,314,473	104
	合計	25,858,718	23,829,447	92	24,377,465	102	25,314,473	104

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ごみ袋購入経費							
指標説明(式)		ごみ袋作成費、配達・保管等維持管理料及び集計事務含む							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	19,057,572	20,487,276	107.5	19,920,708	97.2	19,642,000	98.6	
	実績	18,427,046	18,269,949	99.1	19,218,286	105.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

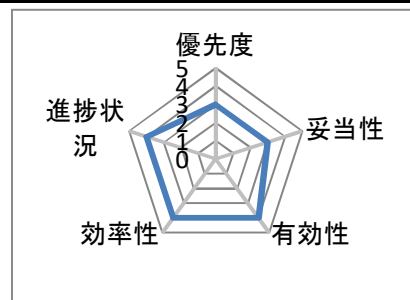
指標名1		ごみ袋1枚あたりの経費(大・中・小平均)							
指標説明(式)		ごみ袋購入代金÷購入枚数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	16.0	16.7	104.4	16.7	100.0	16.9	101.2	
	実績	16.6	16.6	100.0	16.7	100.6			
指標名2		ごみ処理費負担率(売上高÷ごみ収集処理経費)							
指標説明(式)		収益(売上高)÷家庭系(収集・中間・処理)経費							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標	9.5	9.5	100.0	9.0	94.7	9.0	100.0	
	実績	8.9	8.1	91.0	8.4	103.7			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	市内60か所以上の店舗で、ごみ袋等の販売を行い、市民が購入しやすいようサービスを行っている。	4
効率性	コストの節減	ごみ袋の適正管理に努め、無駄な在庫がないようにし、コスト削減を図る。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	在庫管理の徹底を行う。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	引き続き在庫管理の徹底を行う。

配点	32.5
総合評価	22.5

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直し事項	粗大ごみシール券について、10kgと20kgは同じ大きさ、同じ色のため収集時にごみ重量にあったシールが貼られているか見分けがつきにくいので、色を変えて作成する。				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		040303011200		事業の種類		1	
年度	1	事務事業名	リサイクルセンター管理運営事業	予算事業名	リサイクルセンター管理運営事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課		
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志	担当者名	坪田泰典
取組み事項		ごみの適正な処理を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		リサイクルセンター・最終処分場長寿命化事業					
根拠法規及び関連法規		相生市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	資源ごみ					
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正なごみの分別により、リサイクルを推進する。また、リサイクルセンターの長寿命化に対応する計画的な修繕を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		資源ごみの中間処理を行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	資源ごみ搬入量	t	1162	1212	1233	1300
	リサイクル量	t	1321	1277	1322	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分			一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93		
	参事以下職員	1.444	1.428	99	1.428	100	1.584	111		
	臨時職員	2.140	2.380	111	3.212	135	3.136	98		
支出内訳	人件費	17,152,664	17,575,712	102	19,118,229	109	16,809,541	88		
	事業費	30,704,613	12,603,180	41	16,914,503	134	13,863,000	82		
	合計	47,857,277	30,178,892	63	36,032,732	119	30,672,541	85		
財源内訳	国庫支出金			-		-		-		
	県支出金			-		-		-		
	市債			-		-		-		
	その他			-		-		-		
	一般財源	47,857,277	30,178,892	63	36,032,732	119	30,672,541	85		
	合計	47,857,277	30,178,892	63	36,032,732	119	30,672,541	85		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		リサイクル率							
指標説明(式)		資源化量÷総処理量							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	20	20	100.0	20	100.0	20	100.0	
	実績	13	13	100.0	13	100.0			
指標名2		量販店・公民館等による拠点回収							
指標説明(式)		回収量							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
t	目標	200	200	100.0	200	100.0	200	100.0	
	実績	176	194	110.2	185	95.4			

【効率性】

指標名1		資源ごみ1kgに係る処理経費							
指標説明(式)		処理費÷資源ごみ搬入量(t)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	20	20	100.0	20	100.0	20	100.0	
	実績	41.2	24.9	60.4	34.1	136.9			

指標名2		新聞売却							
指標説明(式)		新聞売却単価(税抜き)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	17.0	23	135.3	18	78.3	20	111.1	
	実績	23	18	78.3	20	111.1			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	資源ごみの回収は月1回のため、量販店等による資源ごみ回収拠点の整備を図り、また、市役所にも資源ごみ回収拠点を設置し、市民サービスの向上に努めている。	4
効率性	コストの節減	事業系ごみ分別の徹底を図りコスト削減に努める。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画的に進捗している。	4

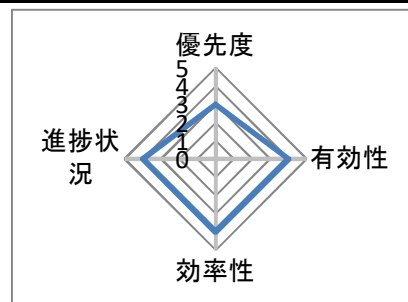
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	資源物の販売単価が社会情勢によって下落する。

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	販売単価が大きく下落したものの、なんとか有価となった。新たな販路の確保に向けて研究の必要がある。



配点	25
総合評価	18

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	社会情勢によって、有価物から逆有償となりえる状況である。引き続き状況を注視する必要がある、逆有償になった場合の処理方法なども検討しておく必要がある。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		040303011300		事業の種類		4	
年度	1	事務事業名	環境クリーン事業	予算事業名	環境クリーン事業	優先度	4
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課		
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志	担当者名	森川拓平
取組み事項		ごみの適正な処理を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	投棄ごみ					
	意図(どのような状態にしたいのか)	道路、河川、公園等に不法投棄された廃棄物の回収処理により、ごみのないきれいなまちづくりに努める。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		不法投棄の対策として、また、環境美化への啓発として、不法投棄パトロールの実施及び不法投棄物の回収業務を委託する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	不法投棄による廃棄物処理	kg	6,380	6,047	4790	5000

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.208	0.224	108	0.224	100	0.196	88	
	臨時職員		0.008	-	0.008	100	0.008	100	
支出内訳	人件費	1,976,456	2,057,108	104	2,050,469	100	1,830,569	89	
	事業費	2,842,128	2,809,728	99	2,942,508	105	2,996,000	102	
	合計	4,818,584	4,866,836	101	4,992,977	103	4,826,569	97	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,818,584	4,866,836	101	4,992,977	103	4,826,569	97	
	合計	4,818,584	4,866,836	101	4,992,977	103	4,826,569	97	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		環境クリーン委託経費							
指標説明(式)		環境クリーン委託経費							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	2,842,128	2,809,728	98.9	2,943,000	104.7	2,995,080	101.8	
	実績	2,842,128	2,809,728	98.9	2,942,508	104.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

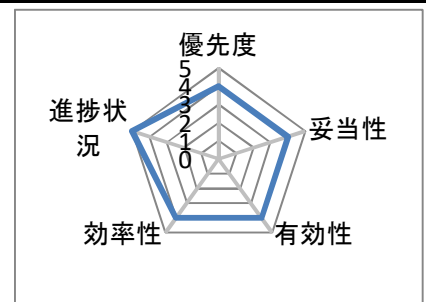
指標名1		処理量1kgあたりの経費							
指標説明(式)		環境クリーン業務委託料÷処理量(不法投棄処理分)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	460	432	93.9	490	113.4	500	102.0	
	実績	445	464	104.3	614	132.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	市内の環境美化が図られている。	4
効率性	手段の最適性	市内パトロールにより市内の環境美化の啓発と処理について最適な手段である。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通り進捗している	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	周回ルートや業務内容の見直しを行う。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	引き続き最適な手法を研究する。

配点	32.5
総合評価	27

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	
見直し事項	業務内容の見直しを行っていく。
新規事項	
方向	継続 成果 拡大 総コスト 維持

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		040303020100		事業の種類		1	
年度	1	事務事業名	し尿収集事業	予算事業名	し尿収集事業	優先度	3		
まちづくり目標			未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち	担当部局名	市民生活部環境課				
施策名(中)			クリーンなまちづくりを推進する	担当課長	宇久勝志	担当者名	井上勇治		
取組み事項			し尿の適正な処理をする	実施計画への記載	無	主要事業の指定		無	
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規			相生市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び施行規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)		市民						
	誰(何)を対象として		衛生環境						
	意図(どのような状態にしたいのか)		安定したし尿収集により地域の衛生環境の保全を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		し尿収集事業				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	し尿収集量	kl	364	324	330	350
	取扱店	件	4	4	4	4
	売りさばき手数料	%	3	8	9	3

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	2.060	2.156	105	2.104	98	2.092	99	
	臨時職員	0.048	0.072	150	0.080	111	0.080	100	
支出内訳	人件費	16,396,624	16,596,812	101	16,127,269	97	16,150,145	100	
	事業費	1,006,092	712,183	71	809,911	114	1,152,000	142	
	合計	17,402,716	17,308,995	99	16,937,180	98	17,302,145	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	17,402,716	17,308,995	99	16,937,180	98	17,302,145	102	
	合計	17,402,716	17,308,995	99	16,937,180	98	17,302,145	102	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		全世帯に対するし尿収集世帯の割合							
指標説明(式)		収集世帯数÷全世帯数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	2.0	1.5	75.0	1.5	100.0	1.5	100.0	
	実績	1.6	1.5	93.8	1.5	100.0			
指標名2		販売店によるし尿券の取扱い							
指標説明(式)		取扱枚数(単位:1000円券、100L)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
枚	目標	50	200	400.0	200	100.0	200	100.0	
	実績	194	208	107.2	301	144.7			

【効率性】

指標名1		1戸当たりの収集経費							
指標説明(式)		経費÷収集戸数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	40,000	85,000	212.5	80,000	94.1	80,000	100.0	
	実績	79,828	83,216	104.2	81,331	97.7			
指標名2		経費と収益の割合							
指標説明(式)		し尿処理経費÷し尿に係る収益							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	150	300	200.0	300	100.0	300	100.0	
	実績	292	314	107.5	284	90.4			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	し尿収集は、水洗化を図りずらい世帯の受け皿であり、市民生活に重要な貢献をしている。	4
効率性	コストの節減	水洗化の普及に伴い収集量は減少しているが、収集計画を立てながらコスト削減に努めた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している。	4

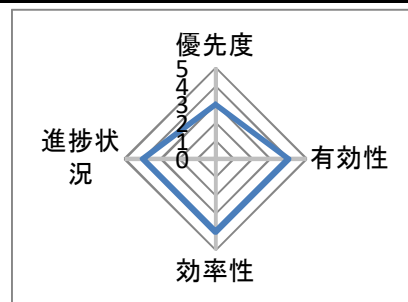
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	収集経路を見直すとともに収益を滞りなく事業に結びつけるように、収集世帯への効果的なアプローチの方法を検討する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	効果的な収集計画を立てながら、コスト削減に努める。



配点	25
総合評価	18

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項	収集世帯については、独居老人や老朽家屋など、それぞれに事情があり、弱者救済という側面から使用料を上げたり、汲み取りを止めることは難しいが、市の体制を見直し、コスト削減に努める。				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報			事業番号	040303040100	事業の種類		3
年度	1	事務事業名	大気汚染常時監視網管理運営事業	予算事業名	大気汚染常時監視網管理運営事業	優先度	3
まちづくり目標			未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち	担当部局名	市民生活部環境課		
施策名(中)			クリーンなまちづくりを推進する	担当課長	宇久勝志	担当者名	森川拓平
取組み事項			環境汚染防止対策を推進する	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規			相生市民の住みよい環境をまもる条例				
事業の目的	誰のために(具体的に)		市民				
	誰(何)を対象として		大気汚染				
	意図(どのような状態にしたいのか)		自動車排ガスの削減等大気環境の改善をはかり住みよいまちとする。				

2 事業の概要 Do

実施の概要		大気環境監視局測定管理委託				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	大気環境監視委託	円	1,620,000	1,620,000	1,760,000	1,760,000

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.100	0.092	92	0.092	100	0.080	87	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,142,912	1,053,668	92	1,054,589	100	949,221	90	
	事業費	2,050,919	2,037,167	99	2,174,216	107	2,227,000	102	
	合計	3,193,831	3,090,835	97	3,228,805	104	3,176,221	98	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,193,831	3,090,835	97	3,228,805	104	3,176,221	98	
	合計	3,193,831	3,090,835	97	3,228,805	104	3,176,221	98	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ハイブリッド車、電気自動車の数							
指標説明(式)		公用車台数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
台	目標	4	4	100.0	4	100.0	4	100.0	
	実績	4	4	100.0	4	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

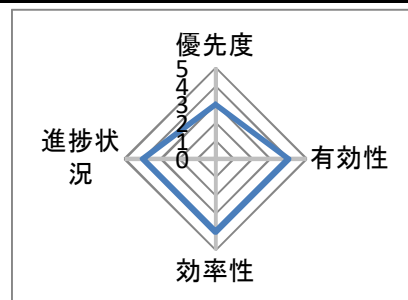
指標名1		公害監視センター測定局管理委託金の歳出/歳入							
指標説明(式)		公害監視センター測定局管理委託金の歳出/歳入							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	84	95	113.1	91	95.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	環境影響調査等実施し、生活環境の改善に重要な貢献をしている。	4
効率性	負担割合の適正化	施設、機器の運営費は県からの委託金で賄えている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
		なし



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
		なし

配点	25
総合評価	18

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		040303040200		事業の種類		1	
年度	1	事務事業名	水質汚濁調査運営事業	予算事業名	水質汚濁調査運営事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課		
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志	担当者名	森川拓平
取組み事項		環境汚染防止対策を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市民の住みよい環境をまもる条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	水質汚染					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市内の河川及び相生湾等の水質測定を実施し、環境保全に努め住みよいまちとする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		市内主要河川7地点及び相生湾の水質測定を実施。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	水質分析委託	円	1,611,144	1,745,280	1,628,000	1,738,000

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.160	0.124	78	0.156	126	0.148	95	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,605,992	1,291,556	80	1,527,549	118	1,459,017	96	
	事業費	1,631,184	2,174,180	133	1,641,000	75	1,812,000	110	
	合計	3,237,176	3,465,736	107	3,168,549	91	3,271,017	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,237,176	3,465,736	107	3,168,549	91	3,271,017	103	
	合計	3,237,176	3,465,736	107	3,168,549	91	3,271,017	103	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		水質測定							
指標説明(式)		水質測定地点(河川、相生湾)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
地点	目標	10	10	100.0	9	90.0	9	100.0	
	実績	10	10	100.0	9	90.0			
指標名2		水質汚濁							
指標説明(式)		苦情件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

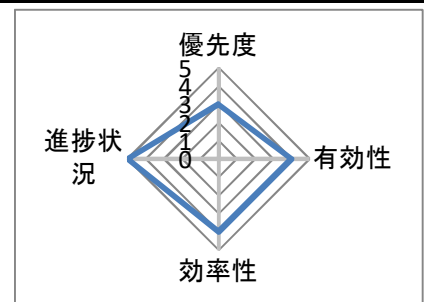
指標名1		水質分析委託料							
指標説明(式)		水質分析委託料							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	1,500,000	1,600,000	106.7	1,926,000	120.4	1,738,000	90.2	
	実績	1,611,144	1,745,280	108.3	1,628,000	93.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	定点で季節ごとに水質環境の変化を常時監視することにより、環境の保全活動が行えている。	4
効率性	コストの節減	測定項目の確認及び委託業者と水質測定日等を細かく調整し、無駄のない対応をした。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
		なし



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
		なし

配点	25
総合評価	19

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	
見直し事項	引き続き調査項目、地点が最適か研究したい。
新規事項	
方向	継続 成果 維持 総コスト 維持

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	040303040300	事業の種類		3	
年度	1	事務事業名	公害行政推進事業	予算事業名	公害行政推進事業	優先度	3
		まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち	担当部局名	市民生活部環境課		
		施策名(中)	クリーンなまちづくりを推進する	担当課長	宇久勝志	担当者名	森川拓平
		取組み事項	環境汚染防止対策を推進する	実施計画への記載		主要事業の指定	
実施計画事業名		PCB廃棄物処理事業					
根拠法規及び関連法規		相生市民の住みよい環境をまもる条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	公害行政					
	意図(どのような状態にしたいのか)	環境保全活動の推進を図ることにより、市民が快適に生活できるようにする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		環境保全審議会の運営、騒音振動監視事業、公害環境指導				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	環境監視員活動	件	71	68	68	0
	騒音・振動測定委託	円	1,306,800	1,725,840	1,265,000	1,320,000
	特定建設作業届	件	84	105	86	100

3 投入資源

		会計区分	一般会計	事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93
	参事以下職員	0.332	0.316	95	0.320	101	0.288	90
	臨時職員			-		-		-
支出内訳	人件費	2,933,488	2,718,884	93	2,739,509	101	2,508,597	92
	事業費	2,107,268	3,001,612	142	5,505,770	183	1,640,000	30
	合計	5,040,756	5,720,496	113	8,245,279	144	4,148,597	50
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	5,040,756	5,720,496	113	8,245,279	144	4,148,597	50
合計		5,040,756	5,720,496	113	8,245,279	144	4,148,597	50

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		環境保全事業							
指標説明(式)		苦情処理件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	70	70	100.0	70	100.0	70	100.0	
	実績	92	68	73.9	60	88.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

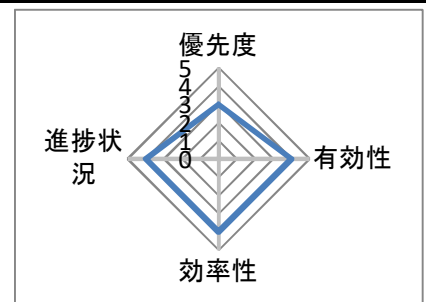
指標名1		環境監視員1人あたりの活動報告件数							
指標説明(式)		活動報告件数÷環境監視員数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	7	7	100.0	7	100.0	0	0.0	
	実績	7	8	114.3	9	112.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	公害苦情処理に対してもスピーディーな対応により処理している。	4
効率性	手段の最適性	公害に関する苦情については、ほぼ、住民から直接寄せられる。環境監視員の在り方について今後検討が必要である。	4
	コストの節減	騒音測定業務について、長年同一個所で定点観測を行っているが、今後道路事情が変わらず、過去から騒音データも変わっていない個所について、見直しをかける。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	環境監視員制度を廃止した。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	苦情対応について関係機関と協力して対応したい。

配点	25
総合評価	18

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	野焼きの苦情について、警察案件となっている事例が多くなっている。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	040303050100	事業の種類		1	
年度	1	事務事業名	畜犬登録事業	予算事業名	畜犬登録事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課		
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志	担当者名	井上勇治
取組み事項		動物愛護を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		狂犬病予防法、相生市民の住みよい環境をまもる条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	畜犬					
	意図(どのような状態にしたいのか)	飼い犬の新規登録及び狂犬病予防注射の受診により犬のしつけ、マナー等の意識向上及び生活環境の健全化を図り住みよいまちとする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		犬の登録、狂犬病予防注射の実施				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	登録件数	件	1,517	1,443	1,527	1,500
	新規登録	件	98	93	121	100
	狂犬病予防注射済	件	914	922	961	900
	集合注射日数	日	4	4	4	4

3 投入資源

3 投入資源		会計区分			一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93		
	参事以下職員	0.080	0.124	155	0.116	94	0.096	83		
	臨時職員	0.216	0.176	81	0.176	100	0.176	100		
支出内訳	人件費	1,557,496	1,778,900	114	1,680,749	94	1,326,485	79		
	事業費	325,625	342,780	105	343,326	100	860,000	250		
	合計	1,883,121	2,121,680	113	2,024,075	95	2,186,485	108		
財源内訳	国庫支出金			-		-		-		
	県支出金			-		-		-		
	市債			-		-		-		
	その他			-		-		-		
	一般財源	1,883,121	2,121,680	113	2,024,075	95	2,186,485	108		
	合計	1,883,121	2,121,680	113	2,024,075	95	2,186,485	108		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		集合注射日程							
指標説明(式)		集合注射実施日							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	4	4	100.0	4	100.0	4	100.0	
	実績	4	4	100.0	4	100.0			
指標名2		集合注射受診の割合							
指標説明(式)		集合注射受診件数÷注射済件数×100							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	50	50	100.0	50	100.0	50	100.0	
	実績	26	26	100.0	23	88.5			

【効率性】

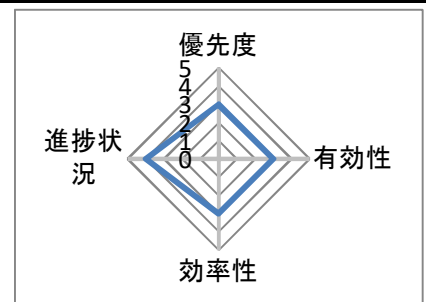
指標名1		注射受診割合							
指標説明(式)		注射受診件数÷登録件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
日	目標	60	65	108.3	65	100.0	65	100.0	
	実績	60.2	63.8	106.0	62.9	98.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	公衆衛生上、犬の登録、狂犬病予防注射は必要である。	3
効率性	手段の最適性	集合注射は必要と考えるが、年々受診件数が減ってきている。実施のあり方を検討する必要がある。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	集合注射は必要であるが、実施方法等について検討する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	獣医師会と今後の在り方について協議を行うとともに、近隣市町の現状をみていく。

配点	25
総合評価	16

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	
見直事項	集合注射の方法等を見直す必要がある。
新規事項	
方向	継続 成果 維持 総コスト 維持

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	040304010100		事業の種類		4	
年度	1	事務事業名	葬儀事業	予算事業名	葬儀事業	優先度	3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課			
施策名(中)		斎場・墓地の適正な管理に努める		担当課長	宇久勝志	担当者名	井上勇治	
取組み事項		斎場の適正管理に努める		実施計画への記載		無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相生市ささゆり苑に関する条例および施行規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	自宅葬儀						
	意図(どのような状態にしたいのか)	自宅等での葬儀において、利用者の利便性を高め、円滑な葬儀の運営を支援する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		葬儀に使用する消耗品の購入、保管及び祭壇等の運搬・撤収等を委託する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	棺の使用	本	126	97	110	120
	祭壇の利用	件	6	3	1	5
	葬儀祭壇等業務委託	円	347,943	349,745	293,040	579,000

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.088	0.208	236	0.240	115	0.212	88	
	臨時職員	0.024	0.012	50	0.012	100	0.012	100	
支出内訳	人件費	1,113,512	1,949,240	175	2,178,909	112	1,956,369	90	
	事業費	2,461,483	1,751,972	71	2,393,864	137	2,830,000	118	
	合計	3,574,995	3,701,212	104	4,572,773	124	4,786,369	105	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,574,995	3,701,212	104	4,572,773	124	4,786,369	105	
	合計	3,574,995	3,701,212	104	4,572,773	124	4,786,369	105	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		自宅等での葬儀の割合							
指標説明(式)		祭壇の使用件数÷葬儀件数(火葬件数)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	5	5	100.0	5	100.0	5	100.0	
	実績	1.3	0.6	46.2	0.2	33.3			
指標名2		霊柩車運搬業務委託事業							
指標説明(式)		委託料							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	864,000	901,800	104.4	915,600	101.5	924,000	100.9	
	実績	518,400	491,400	94.8	458,200	93.2			

【効率性】

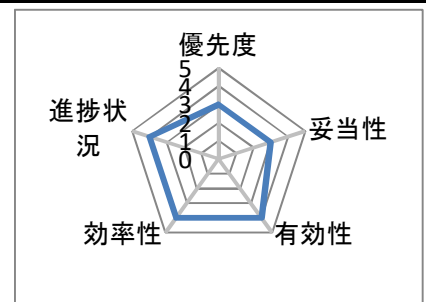
指標名1		霊柩車運転業務1件に係る経費							
指標説明(式)		霊柩業務経費÷件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	5,400	5,400	100.0	5,400	100.0	5,400	100.0	
	実績	5,400	5,400	100.0	5,400	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	祭壇の運搬・撤収について、適正な対応に努める。	4
	成果目標(改善)達成度	利用者に対して適正な霊柩業務を行うことができた。	
効率性	コストの節減	祭壇の運搬・撤収について、効率的な運営を図りコスト削減に努めた。	4
	コストの節減	霊柩車の適正管理を図りコスト削減に努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	葬儀祭壇等の備品については老朽化しているので、更新を検討していく。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	備品の管理について適正に行い、サービスの見直しに努める。

配点	32.5
総合評価	22.5

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	
見直し事項	自宅葬の減少、備品の老朽化が進んでおり、祭壇等の貸出を含めた事業の見直しが必要である。
新規事項	
方向	継続 成果 維持 総コスト 維持

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	040304010200	事業の種類		3		
年度	1	事務事業名	ささゆり苑管理運営事業	予算事業名	ささゆり苑管理運営事業	優先度	3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課			
施策名(中)		斎場・墓地の適正な管理に努める		担当課長	宇久勝志	担当者名	井上勇治	
取組み事項		斎場の適正管理に努める		実施計画への記載		有	主要事業の指定	無
実施計画事業名		ささゆり苑補修事業						
根拠法規及び関連法規		相生市ささゆり苑に関する条例および施行規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	葬儀施設ささゆり苑						
	意図(どのような状態にしたいのか)	ささゆり苑の管理運営の健全化を図り、使用者の利便性を高める。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		ささゆり苑の管理運営を行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	通夜・葬儀利用件数	件	184	150	134	150
	火葬炉使用件数	件	449	443	442	450
	動物炉使用件数	件	214	169	144	200

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.160	0.244	153	0.264	108	0.236	89	
	臨時職員	0.020	0.008	40	0.008	100	0.008	100	
支出内訳	人件費	1,658,672	2,205,788	133	2,346,069	106	2,130,449	91	
	事業費	40,702,853	35,912,269	88	35,176,727	98	46,166,000	131	
	合計	42,361,525	38,118,057	90	37,522,796	98	48,296,449	129	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	42,361,525	38,118,057	90	37,522,796	98	48,296,449	129	
	合計	42,361,525	38,118,057	90	37,522,796	98	48,296,449	129	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ささゆり苑利用率							
指標説明(式)		ささゆり苑葬儀場利用件数÷火葬件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	50	50	100.0	50	100.0	50	100.0	
	実績	40.9	33.8	82.6	30.3	89.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		事業費に対する使用料収入							
指標説明(式)		ささゆり苑管理運営事業費(人件費除く)÷使用料収入							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	50	50	100.0	50	100.0	50	100.0	
	実績	50.3	46.8	93.0	45.3	96.8			
指標名2		ささゆり苑管理委託料							
指標説明(式)		ささゆり苑管理委託料							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	17,495,460	17,638,200	100.8	17,804,000	100.9	17,495,460	98.3	
	実績	17,803,368	17,278,164	97.0	17,252,814	99.9			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	施設の維持管理について、部分修繕等による延命化に努めるとともに、定期的な点検を実施し、利便性を維持しながら市民サービスに努めた。	5
効率性	負担割合の適正化	利用者の負担割合について、大規模な改修を除き、5割弱の受益者負担を得ており、適正である。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	民間葬儀場で葬儀を行う人が増えており、利用者を取り込むための対策を検討する。

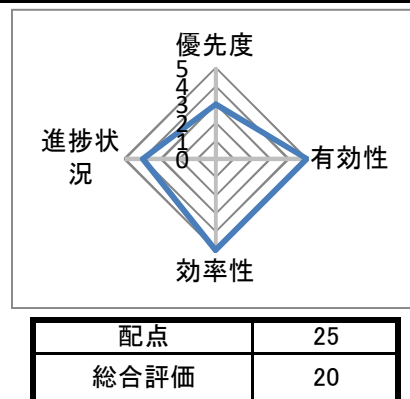
7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	市民ニーズに対応可能か見極め、効率的な運営を図る。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	施設の老朽化に伴う火葬炉の全面積替修繕等、大規模な改修を実施計画に基づき行っていくことにより、適正な維持管理に努める。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持



事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	040304010300	事業の種類		1	
年度	1	事務事業名	ささゆり苑使用許可事業	予算事業名		優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部市民課		
施策名(中)		斎場・墓地の適正な管理に努める		担当課長	佐原 正樹	担当者名	桔梗 称花
取組み事項		斎場の適正管理に努める		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市ささゆり苑に関する条例、相生市ささゆり苑に関する規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	ささゆり苑使用許可申請者					
	誰(何)を対象として	ささゆり苑使用許可申請者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	遺族の方が、葬儀施設としてスムーズにささゆり苑を利用していただけるようにする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		葬儀施設・火葬場の使用許可を行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	使用許可事務件数	件	444	438	441	441
	市民のささゆり苑利用件数	件	408	392	390	397

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93
	参事以下職員	0.356	0.356	100	0.346	97	0.356	103
	臨時職員			-	0.010	-	0.000	0
支出内訳	人件費	3,118,720	3,016,244	97	2,957,149	98	3,018,393	102
	事業費			-		-		-
	合計	3,118,720	3,016,244	97	2,957,149	98	3,018,393	102
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	3,118,720	3,016,244	97	2,957,149	98	3,018,393	102
	合計	3,118,720	3,016,244	97	2,957,149	98	3,018,393	102

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		使用許可書交付平均時間							
指標説明(式)		ささゆり苑使用許可申請から許可書を交付するまでの平均時間							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
分	目標	18	18	100.0	18	100.0	18	100.0	
	実績	18	18	100.0	18	100.0			
指標名2		ささゆり苑利用率							
指標説明(式)		ささゆり苑利用件数／市民の死亡件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	95	96	101.1	95	99.0	95	100.0	
	実績	97	95	97.9	96	101.1			

【効率性】

指標名1		1件あたりの許可書交付コスト							
指標説明(式)		総事業費／許可書交付件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	7396	7125	96.3	7103	99.7	6844	96.4	
	実績	7024	6886	98.0	6706	97.4			

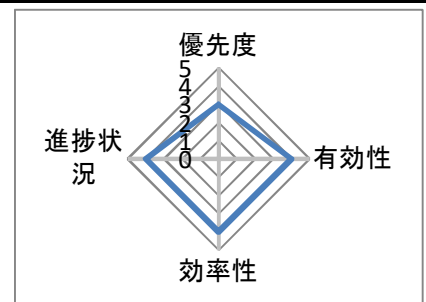
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	年度当初の目標は概ね達成できた。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	条例・規則に基づき、ささゆり苑の使用許可を迅速・正確に行うことができた。	
効率性	コストの節減	前年度と比べて、1件当たりのコストは減少した。	4
	執行体制の効率性	ささゆり苑の使用許可申請は、市民課で受付を行い、閉庁時は宿直者が対応し、許可書を交付した。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	正確・迅速に事務処理を行う。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	係内研修を充実させ、事務の正確化・迅速化を図る。

配点	25
総合評価	18

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	さらに事務の正確化・迅速化を図る。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040304020100	事業の種類	3
年度	1	事務事業名	市営墓地維持管理事業	予算事業名	市営墓地使用料還付事業ほか 優先度 3
		まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち	担当部局名	市民生活部環境課
		施策名(中)	斎場・墓地の適正な管理に努める	担当課長	宇久勝志 担当者名 井上勇治
		取組み事項	墓地の適正管理に努める	実施計画への記載	無 主要事業の指定 無
実施計画事業名		合葬式墓地整備事業			
根拠法規及び関連法規		相生市営墓園条例、施行規則、相生市営墓地条例、施行規則			
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	市営墓園			
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民の墓地需要に対応し、市営墓地を適正に管理する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		市営墓地の維持管理事業				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	貸付区画数	区画	2,427	2,429	2,351	2,351
	古池墓地	区画	526	523	517	517
	相生墓園	区画	1,085	1,088	1,043	1,043
	東部墓園	区画	816	818	791	791

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.160	0.264	165	0.356	135	0.356	100	
	臨時職員	0.020	0.008	40	0.008	100	0.008	100	
支出内訳	人件費	1,658,672	2,354,468	142	3,025,949	129	3,030,089	100	
	事業費	14,513,253	15,164,463	104	24,548,067	162	12,994,000	53	
	合計	16,171,925	17,518,931	108	27,574,016	157	16,024,089	58	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	16,171,925	17,518,931	108	27,574,016	157	16,024,089	58	
	合計	16,171,925	17,518,931	108	27,574,016	157	16,024,089	58	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		墓地貸付率							
指標説明(式)		墓地貸付件数÷全体区画数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	99	99	100.0	96	97.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		1基あたりの維持管理経費							
指標説明(式)		支出額(支出(利子除かない)-還付金)÷貸付区画数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1,600	1,600	100.0	1,600	100.0	1,600	100.0	
	実績	1,641	1,587	96.7	1,885	118.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	墓地の新設、返還時に必ず現地確認を行い、設置基準等が守られているか確認し、適正管理に努めた。	4
効率性	手段の最適性	墓地の返還にあたり使用料の8割相当額を還付するため返還しやすくなったことで、墓地確保を図った。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	墓地使用料の返還額を令和2年度に5割相当額へ見直すことによる返還数の増加と貸付数の減少により貸付率の低下につながった。

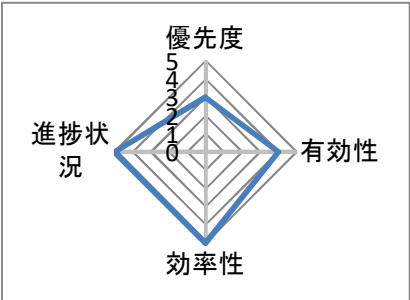
7 事業の改革改善 Action

(1)評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	令和元年度返還数が大幅な増加に転じたが、2年度も引き続き返還及び貸付までの管理を適正に行う。

(2)3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項	相生市営合葬墓園の建立を予定しており、工事の進捗状況に併せて、墓地需要のニーズを汲み取りながら墓園の適正管理に努める。				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持



配点	25
総合評価	20